

再評価結果（令和4年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・技術課

担当課長名：長谷川 朋弘

事業名 一般国道57号 <small>くまもと う と</small> 熊本宇土道路 <small>くまもと し み な み く う じ ぐ ち ま ち</small> 起終点 自：熊本県熊本市南区海路口町 至：熊本県宇土市城塚町	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 九州地方整備局																													
事業概要 熊本宇土道路は高規格道路「熊本天草幹線道路」の一部を形成し、熊本地域と天草地域の地域間連携の強化、国道3号、57号の交通混雑の緩和や交通安全性の向上等を目的とした事業である。		延長 3.8km																													
H9年度事業化	H一年度都市計画決定 (H一年度変更)	H13年度用地着手																													
H18年度工事着手																															
全体事業費	約404億円	事業進捗率 (令和3年3月末時点)																													
	約35%	供用済延長																													
		0.0km																													
計画交通量 14,200台/日																															
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">B/C</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">(事業全体)</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">1.5</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">(残事業)</td> <td style="text-align: center;">3.0</td> </tr> </table>	B/C	(事業全体)	1.5		(残事業)	3.0	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">総費用</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">(残事業)/ (事業全体)</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">232/457億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">(事業費)</td> <td style="text-align: center;">213/437億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">(維持管理費)</td> <td style="text-align: center;">19/19億円</td> </tr> </table>	総費用	(残事業)/ (事業全体)	232/457億円		(事業費)	213/437億円		(維持管理費)	19/19億円	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">総便益</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">(残事業)/ (事業全体)</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">692/692億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">(走行時間短縮便益)</td> <td style="text-align: center;">565/565億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">(走行経費減少便益)</td> <td style="text-align: center;">82/82億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">(交通事故減少便益)</td> <td style="text-align: center;">45/45億円</td> </tr> </table>	総便益	(残事業)/ (事業全体)	692/692億円		(走行時間短縮便益)	565/565億円		(走行経費減少便益)	82/82億円		(交通事故減少便益)	45/45億円	基準年 令和3年
B/C	(事業全体)	1.5																													
	(残事業)	3.0																													
総費用	(残事業)/ (事業全体)	232/457億円																													
	(事業費)	213/437億円																													
	(維持管理費)	19/19億円																													
総便益	(残事業)/ (事業全体)	692/692億円																													
	(走行時間短縮便益)	565/565億円																													
	(走行経費減少便益)	82/82億円																													
	(交通事故減少便益)	45/45億円																													
感度分析の結果 【事業全体】交通量：B/C=1.4～1.7（交通量±10%） 事業費：B/C=1.4～1.6（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.4～1.6（事業期間±20%）																															
【残事業】交通量：B/C=2.7～3.3（交通量±10%） 事業費：B/C=2.7～3.3（事業費±10%） 事業期間：B/C=2.7～3.1（事業期間±20%）																															
事業の効果等																															
①広域交通ネットワークの形成 ・熊本市を起点として宇土市、宇城市、上天草市を經由し、天草市に至る広域ネットワークが形成され、観光地への滞在時間増加等による地域経済の活性化が期待される。 ②交通混雑の緩和 ・宇土・宇城・天草方面の交通が並行現道から転換し、交通混雑の緩和が期待される。 ③交通安全性の向上 ・並行現道の交通が転換し、交通安全性の向上が期待される。 ④生活環境の改善 ・自動車の走行性向上による環境への影響が低減される。(CO ₂ , NO ₂ , SPM削減)																															
関係する地方公共団体等の意見 天草市をはじめとする6市町で構成される熊本天草間幹線道路整備促進期成会（会長：天草市長）により早期整備の要望を受けている。(令和3年4月、令和3年7月)																															
熊本県の意見 今回、意見照会のありました一般国道57号熊本宇土道路に関する国の「対応方針（原案）」案については、異存ありません。 本路線は、県内の広域道路ネットワークを形成する「熊本天草幹線道路」の一部を担い、熊本都市圏と県内主要都市を半日行動圏とする「90分構想」の実現と熊本都市圏の拠点性向上の実現のために必要な道路であり、本年6月に策定公表した「熊本県新広域道路交通計画」では、地域や拠点間を連絡し、災害に強い道路ネットワークの形成を担う「高規格道路」として位置付けを行いました。 以上のことから、本県としては、一日も早い全線の完成供用を切望しており、今後とも、なお一層の整備推進をお願いします。																															
熊本市の意見 天草地域と熊本都市圏を結ぶ熊本天草幹線道路の一部を構成する重要な路線であり、本路線の整備により、並行する国道3号や国道57号の渋滞緩和が期待されるほか、県内の主要観光地である天草地域へのアクセス性の向上による観光や経済面での効果も期待されることから、引き続き事業推進を行う必要がある。																															

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、事業継続。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

沿線地域の人口は増加傾向。一世帯当たりの自動車保有台数は熊本県及び九州全体よりも低いと同様の傾向で推移しており、また交通量は約2万台/日で推移している。社会的情勢の大きな変化は認められない。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成9年度に事業化、用地進捗率約99%、事業進捗率約35%（令和3年3月末時点）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

地元や関係機関との協力体制のもと、今後も引き続き残工事等の事業進捗を図っていく。

施設の構造や工法の変更等

新技術・新工法の積極的な活用及び建設副産物対策により、着実なコスト縮減に努める。

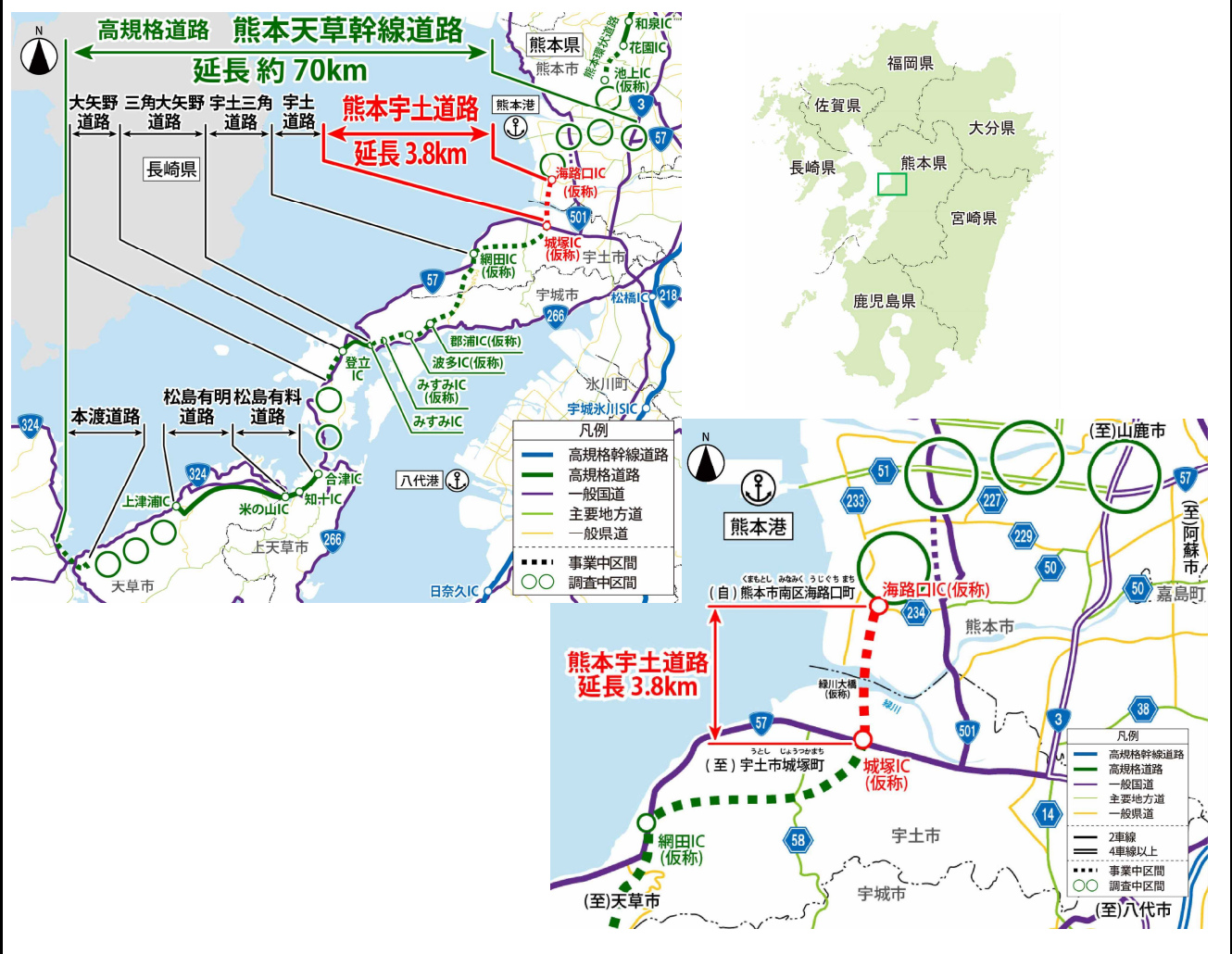
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。